

プログラム 第1日目 9月11日(金)

第1会場 2F メインホールC

9:10~10:40 シンポジウム1

「抗アミロイドβ抗体治療の継続で見えてきたこと」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）

村上 秀友（昭和医科大学 医学部 内科学講座脳神経内科学部門）

S1-1 抗アミロイドβ抗体薬の導入と継続～徳島県の現状と課題～

和泉 唯信（徳島大学 大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学分野）

S1-2 抗アミロイドβ抗体療法登場後の地域医療連携～実臨床から見えた課題～

黒田 岳志（昭和医科大学医学部 内科学講座 脳神経内科学部門）

S1-3 抗アミロイドβ抗体療法における導入・継続治療における沖縄県の課題

渡嘉敷 崇（国立病院機構沖縄病院）

S1-4 奈良での認知症医療の再考：地域で支えるアプローチ

塩田 智（奈良県立医科大学 脳神経内科/宇陀市立病院 脳神経内科）

10:50~11:30 大会長講演

「多職種共創による認知症予防学と共生社会の確立を目指して」

座長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

演者：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

11:30~12:00 代表理事講演

「今後の日本認知症予防学会のあり方」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）

演者：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

12:10~13:00 ランチョンセミナー1

「アルツハイマー病の早期発見と治療意義—MCI 外来の実践から—」

座長：笠原 浩生（群馬大学医学部附属病院脳神経内科）

演者：長井 篤（島根大学医学部内科学講座 内科学第三）

共催：日本イーライリリー株式会社

13:10~13:40 特別講演1

「新たな経済ステージに向けて」

座長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

演者：加藤 勝信（衆議院議員）

14:10~15:40

基礎研究推進助成金受賞者シンポジウム

座長：山下 徹（富山大学学術研究部医学系 脳神経内科）

武田 朱公（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

- 1 アルツハイマー病の脳一骨格筋連関の機構解明と
カロリー制限による安全な予防介入基盤の構築
中井 剛（藤田医科大学医学部 薬物治療情報学）
- 2 糖尿病とアルツハイマー病をつなぐ分子機序の解明
伊藤 祐規（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）
- 3 認知症性疾患における cell-free DNA・RNA の解析
田所 功（岡山大学病院 脳神経内科）
- 4 認知症スクリーニング検査の受検を促進・阻害する要因の検討
河月 稔（鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座）
- 5 補聴器外来における聴覚・認知統合評価モデルの構築
—視線計測型認知機能検査『ミレボ』を用いた新たな認知症予防アプローチ—
阿部 朋子（東北医科薬科大学病院 検査部）

16:00~17:30

シンポジウム 6

「認知症バイオマーカー研究の進歩」

座長：太田 康之（山形大学医学部第三内科神経学分野）

薬師寺 祐介（関西医科大学神経内科学講座）

- S6-1 アルツハイマー病におけるアミロイド（A）マーカーの進歩
黒田 岳志（昭和医科大学医学部 内科学講座 脳神経内科学部門）
- S6-2 タウ関連バイオマーカーの進歩
武田 朱公（大阪大学/大阪精神医療センター・こころの科学リサーチセンター）
- S6-3 アミロイド関連画像異常検出マーカーの進歩
新堂 晃大（三重大学 医学部 脳神経内科）
- S6-4 アミロイド蓄積に関連する生体因子
～生体センサを用いたアミロイド陽性判定の可能性～
安高 拓弥（大分大学 医学部 神経内科学講座）

第2会場 2F メインホール B

9:10~10:40

シンポジウム 2

「認知症予防専門薬剤師に関連するシンポジウム」

座長：安倉 央（株式会社マスカット薬局）

片山 真二（株式会社一の薬局）

- S2-1 令和8年調剤報酬改定から読み解く認知症における地域薬局の役割
山田 武志（公益社団法人日本薬剤師会）
- S2-2 認知症のひとへの処方最適化と服薬リハビリテーションの実践
藤原 将平（南天薬局）

S2-3 薬局で実施する認知症の二次・三次予防の意義

町田 保子（株式会社 ツル薬局）

13:10～14:00 特別講演 2

「日本人高齢者コホートに基づく MIND-J+スコアの開発と
認知症予防ヘルスケアサービスの社会実装」

座長：辻 正純（医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック）

演者：内藤 裕二（京都府立医科大学 生体免疫栄養学講座）

14:10～15:50 口演 1 「MCI・認知症の臨床」

座長：阿部 康二（大阪暁明館病院/石巻市立病院）

松原 悦朗（大分大学医学部神経内科学講座/

臼杵市医師会認知症先端医療学研究所）

O1-1 多職種で取り組む認知症診療～抗アミロイド β 抗体薬導入後 2 年が経過して～

森木 章人¹⁾、内田 伸子²⁾、内田 泰史¹⁾、戸田 かおり³⁾、市村 節子³⁾、岡林 美由紀⁴⁾、柿本 純⁵⁾

1)医療法人治久会 もみのき病院 脳神経外科、2)もみのき病院 精神科、3)もみのき病院 看護部、

4)もみのき病院 リハビリテーション科、5)もみのき病院 地域連携室

O1-2 抗 A β 抗体薬による治療効果の検討

一特にアンケートおよび Mobile Application を用いた評価の結果より一

大日方 千春¹⁾、鳥羽 泰之¹⁾、山本 泰永¹⁾、追分 千春²⁾、星野 美幸²⁾、田中 祐里²⁾、盛田 沙英²⁾、

倉石 夏帆³⁾

1)小林脳神経外科・神経内科病院 脳神経外科、2)小林脳神経外科・神経内科病院 リハビリテーション科作業療法部門、

3)小林脳神経外科・神経内科病院 医事課

O1-3 アルツハイマー病の抗 A β 抗体薬とドネペジル経皮吸収型製剤併用症例の報告

～ドネペジル経皮吸収型製剤の最適患者選択の検討含め～

北薗 久雄、今井 瑛莉奈、木村 彩摘、関根 大地、森川 理子、安部 恭嗣、布施 彰久、

野崎 博之

川崎市立川崎病院 脳神経内科

O1-4 当院におけるドネペジル貼付剤導入 126 例の解析からみた治療継続に関わる

貼付部位皮膚管理の重要性

布施 彰久¹⁾、今井 瑛莉奈²⁾、木村 彩摘²⁾、関根 大地²⁾、森川 理子¹⁾、安部 恭嗣¹⁾、北薗 久雄¹⁾、

野崎 博之¹⁾

1)川崎病院 脳神経内科、2)川崎病院 総合内科

O1-5 当院における抗アミロイド β 抗体薬治療の現状

堀田 牧代^{1,2)}、木村 亜紀子^{1,3)}、渡邊 将平^{1,4)}、木村 卓^{1,4)}、宇和 典子^{1,5)}

1)兵庫医科大学病院 認知症疾患医療センター、2)兵庫医科大学病院 看護部、3)兵庫医科大学病院 医療社会福祉部、

4)兵庫医科大学 脳神経内科、5)兵庫医科大学 精神科神経科

O1-6 認知機能低下を契機に発見され、治療介入により改善を認めた

神経梅毒の 62 歳男性例

山形 怜史、片野 雄大、横須賀 佑、林 俊行、須田 智

日本医科大学付属病院 脳神経内科

O1-7 日本初の認知症予防専門外来の受診者像

阿部 康二^{1,2)}

1)大阪暁明館病院、2)石巻市立病院

O1-8 軽度認知障害および軽度認知症における昼寝習慣と認知機能・生活機能の関連

笠原 浩生、高橋 怜真、瓦林 毅、池田 佳生

群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学

O1-9 認知症患者家族による重症度評価に影響を及ぼす因子の解析

塩田 智^{1,2)}、杉江 和馬¹⁾

1)奈良県立医科大学 脳神経内科、2)宇陀市立病院 脳神経内科

- 01-10 気管チューブの抜管時間帯が患者に及ぼす精神的な影響についての実態調査
村尾 咲季
社会医療法人 愛仁会 明石医療センター

16:00~17:30 シンポジウム 7

「これからの認知症予防ナースに期待されること」

座長：木村 成志（大分大学医学部神経内科）
高澤 留美子（日本の介護株式会社）

- S7-1 居宅サービスにおける認知症予防ナースとしてのミニマムな認知症一次予防活動
～MCIハンドブック別冊生活ノートを活用した一例
管谷 由紀子（医療法人社団翔洋会 事務局 事業推進室）
- S7-2 看護系大学での認知症予防の取り組み
荒井 葉子（福山平成大学看護学部看護学科）
- S7-3 臼杵市における認知症マップ作成を通じた多職種・地域共創と予防ナースの役割
高橋 鉄平（臼杵市医師会立コスモス病院）
- S7-4 地域包括支援センター保健師の実践報告
～認知症の人・家族と共に楽しみ、支え合う地域活動～
土田 仁美（富田浜福祉会 四日市市北地域包括支援センター）

第3会場 2F メインホール A

9:10~10:40 シンポジウム 3

「認知症予防と安全なモビリティの未来：自動車運転継続と卒業をどう支えるか」

座長：久徳 弓子（川崎医科大学 神経内科学）
上村 直人（高知リハビリテーション専門職大学）

- S3-1 認知症と自動車運転の医学的基礎知識
～認知機能検査の限界と疾患ごとの臨床判断のリアル～
上村 直人（高知リハビリテーション専門職大学）
- S3-2 高齢者の安全運転と運転免許証の自主返納
（運転寿命延伸プログラムの参加者および運転免許外来を受診した患者の声から）
荒井 佐和子（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科/
川崎医科大学附属病院 臨床心理センター）
- S3-3 地域で支える高齢者の安全運転の最前線—タテシナ会議の取り組みを軸とした、
高齢ドライバの運転寿命延伸に向けた企業の活動—
福島 一博（株式会社デンソー）

14:10~15:50 口演 2 「認知症の非薬物療法」

座長：辻 正純（医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック）
山本 泰司（神戸大学医学系研究科病態情報学）

- O2-1 実践が大事！ だから「ハートフル・コグニダンス」で予防と改善
～心も体も、ピン♪・シャン♪・ワクワク♪・ルンルン♪～

利根川 久女紅¹⁾、阿部 康二²⁾、五月女 美幸¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、平塚 喜之¹⁾、堀 慎二³⁾、
小川 八重子¹⁾、助信 奈穂子¹⁾、福岡 かをり¹⁾、中村 佳代¹⁾、利根川 浩一¹⁾
1)利根川 K スタジオ/日本リハビリクス協会、2)東京リポーンクリニック銀座院、3)S&Hpro.

- O2-2 エンジョイニングゲームは心身の活性化と参加意欲を高めるか
ー198名を対象とした即時効果の検証ー
加藤 良江
一般社団法人みんなの認知症予防ネット
- O2-3 通所介護における多面的介入による認知機能改善の検討
中島 文音、奥村 伊世
(株)ルピナス リハビリデイサービス ルピナス朱雀
- O2-4 歌唱と手指運動の二重課題によるホームプログラムの認知機能への影響
笹 順恵¹⁾、鈴木 里砂²⁾
1)早稲田大学 大学院 人間科学研究科、2)早稲田大学 人間科学学術院
- O2-5 ハンドケア介入による神経血管単位保護と認知症予防の可能性
ートリプルヒット負荷モデルに基づく検討ー
佐々木 晶子¹⁾、井上 由理子²⁾、池田 明子³⁾、小口 達敬¹⁾
1)昭和医科大学 医学部 薬理学講座 医科薬理学部門、2)昭和医科大学 医学部 解剖学講座 肉眼解剖学部門、
3)日本フィットセラピー協会 ソフィアフィットセラピーカレッジ
- O2-6 リアルタイム脳機能モニタリングを用いた MCI・軽度認知症への認知・
運動介入効果の日本・台湾国際比較
勝野 温子、上田 菜緒、月川 健太郎、梅田 拓海
介護老人保健施設やすらぎ 通所リハビリテーション
- O2-7 リアルタイム脳機能モニタリングを用いた MCI・軽度認知症への認知・
運動介入効果の日本・台湾国際比較
林 儒宜、胡 曼文、林 孝謙、林 嘉榆、林 鈺淳、林 煒翎、陳 緯捷、方 祥軒
台湾 台北 起辰聯合治療所
- O2-8 適切な飲水は認知機能を改善する
嶋原 良仁^{1,2)}
1)北斗病院 精密医療センター、2)十勝リハビリテーションセンター
- O2-9 過眠 (Hypersomnia) 状態の DLB 患者に対し、
コーヒー投与を利用し覚醒状態の改善が見られた一例
竹内 麻¹⁾、大沢 天使²⁾
1)地域医療機能推進機構 JCHO 群馬中央病院 臨床検査部、2)地域医療機能推進機構 JCHO 群馬中央病院 神経内科
- O2-10 全国大会を目指す高齢者ヒップホップダンスは認知機能・歩行機能を
維持・改善する：6 都道府県 3 時点縦断研究
宮崎 敦子¹⁾、奥山 卓¹⁾、森 隼人²⁾、佐藤 和久³⁾、檜山 敦⁴⁾
1)東京大学 先端研 身体情報学分野、2)有限会社 スーパーリハ、3)株式会社 WARAKU、
4)一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科

16:00～17:30 シンポジウム 8

「共生社会実現におけるかかりつけ医の役割ーかかりつけ医がつなぐ医療と地域ー」

座長：内門 大丈 (医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南)

- S8-1 共生社会実現に向けた福岡市での取り組み
内田 直樹 (医療法人すずらん会たろうクリニック)
- S8-2 生活と地域に根ざした認知症予防ーつながる医療の現場からー
八森 淳 (医療法人 MoLead つながるクリニック)
- S8-3 対話が支える認知症予防と共生
繁田 雅弘 (栄樹庵診療所/メモリーケアクリニック湘南)

第4会場 2F 中会議室 202

9:10~10:40 シンポジウム 4

「「予防」と「早期発見」を意義あるものとするために
(日本認知症ケア学会 合同シンポジウム)」

座長：上原 孝介（株式会社松井ライフプロデュース）

高澤 留美子（日本の介護株式会社）

S4-1 理学療法の予防的介入の現状

國枝 洋太（東京都済生会中央病院 認知症疾患医療センター）

S4-2 早期発見につながるバイオマーカーの現状と課題

松熊 美千代（三井記念病院 臨床検査部）

S4-3 予防と早期発見の価値が高まるとき

繁田 雅弘（栄樹庵診療所/メモリーケアクリニック湘南）

12:10~13:00 ランチョンセミナー 2

「認知症予防に向けた取り組み

ーブレインウェルネス実現のための AI×DX から健康食品までー」

座長：阿部 康二（岡山大学名誉教授（脳神経内科）/石巻市立牡鹿医療センター）

演者：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学）

共催：ウィルファーム株式会社

16:00~16:50 ダンスプログラム

「ダンス療法「ハートフル・コグニダンス」で認知症予防の実践を！」

講師：利根川 久女紅（利根川 K スタジオ/日本リンパピクス協会）

第5会場 3F 中会議室 301

9:10~10:40 シンポジウム 5

「日本脳サプリメント学会 合同シンポジウム」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

須田 智（日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野）

S5-1 生活習慣病と脳サプリメント：認知症予防への新たなアプローチ

山下 徹（富山大学 医学部 脳神経内科）

S5-2 抗酸化サプリメントの基礎的臨床的効果

犬房 春彦（岐阜大学 抗酸化研究室）

S5-3 ヨガと認知症予防

菱川 望（倉敷平成病院 脳神経内科）

S5-4 認知症予防サプリメントの探索

足立 弘明（産業医科大学 医学部 神経内科学講座）

12:10～13:00 ランチョンセミナー 3

「ウェアラブル機器を使った認知機能低下とフレイルの予防
ービッグデータ解析と応用ー」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座（寄附講座））

演者：大渕 修一（東京都健康長寿医療センター研究所）

共催：株式会社太陽生命少子高齢社会研究所

14:10～15:50 口演 3 「認知症の人と家族への支援」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）

O3-1 退院支援に難渋した重度 DLB を含む多疾患併存患者の一例
ーチームによる多角的評価と家族支援による自宅退院へのアプローチー

北島 春菜、小川 弘孝、小出 将志

社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院

O3-2 参加型アートプログラムに参加した若年性認知症者の語りにみる
自己表現の回復と安心できる場の意義

杉山 美香¹⁾、海野 尚子¹⁾、枝広 あや子¹⁾、豊田 莉子¹⁾、稲垣 宏樹¹⁾、名越 敬真¹⁾、古田 晶子²⁾

1) 東京都健康長寿医療センター研究所、2) 順天堂東京江東医療センターメンタルクリニック

O3-3 群馬大学医学部附属病院における抗アミロイド β 抗体療法の適応検討過程と
治療導入状況

鈴木 陽子¹⁾、高橋 怜真²⁾、笠原 浩生²⁾、池田 佳生³⁾

1) 群馬大学 医学部 附属病院 看護部、2) 群馬大学 医学部 附属病院 脳神経内科、

3) 群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学

O3-4 認知症家族を抱える働く介護者の現状と社会の危機
ー介護離職防止に向けた企業包括ケアシステムの提案ー

吉岡 千代子¹⁾、田村 優介²⁾、大西 一郎^{3,4)}、田中 洋子⁵⁾

1) 株式会社フォスターメイト、2) 城北法律事務所 弁護士、3) 株式会社ベストライフ東京 介護福祉士、

4) 株式会社ワン・エイト ジェネラルマネージャー、5) ファルファッラ 代表

O3-5 せん妄の誘因除去と安心感を与える環境整備の重要性
ー認知症患者の 1 事例を経験してー

藤井 智也、徳永 春菜、吉住 彩、吉岡 優芽、小松 絵美、久徳 弓子、片山 志穂

川崎医科大学附属病院 看護部 看護科

O3-6 本人の『やりたいこと』を実現するプロセスで広がったチームの輪と
新たな視点の発見

小野 未架¹⁾、藤澤 沙樹¹⁾、衛藤 和子²⁾、後藤 さおり²⁾、黒田 学志³⁾

1) 白杵市医師会地域包括支援センターコスモス、2) 白杵市、3) 白杵市チームオレンジコーディネーター

O3-7 計算論的神経科学に基づく認知症精神療法の構造化：
予測誤差最小化に向けた対話技法の体系化

伴 正海^{1,2)}、繁田 雅弘^{2,3)}

1) 医療法人社団おうちの診療所、2) 医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南、

3) 医療法人社団彰耀会 栄樹庵診療所

O3-8 老人保健施設における夕暮れ症候群に対する音楽療法の試み
ー多職種による情報共有と介入がもたらす症状変化の検討ー

雫 裕子^{1,2)}、鈴木 芽衣^{1,2)}、國本 大介²⁾、田中 聖二²⁾

1) 医療法人 恕泉会 内田脳神経外科、2) 医療法人 恕泉会 介護老人保健施設ピアハウス高知

O3-9 アルツハイマー型認知症高齢者における BPSD と介護負担の関連
ー情緒的負担感および社会参加制限への影響ー

安田 万里子¹⁾、谷 英俊¹⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾

1) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、2) 川崎医科大学 神経内科学

O3-10 計算論的神経科学による BPSD の多角的新解釈：
内的モデルと感覚入力の相互作用に基づく病態分析

伴 正海^{1,2)}

1) 医療法人社団おうちの診療所、2) 医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南

16:00~17:30 シンポジウム 9

「エビデンスに基づく認知機能維持のための食品を考える

(健康食品産業協議会との共催シンポジウム)」

座長：森下 竜一 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学)

西村 栄作 (一般社団法人健康食品産業協議会/森永製菓株式会社)

S9-1 保健機能食品制度の概要

今西 保 (消費者庁 食品表示課 保健表示室)

S9-2 健康食品産業協議会の活動紹介

西村 栄作 (森永製菓株式会社 研究所/一般社団法人健康食品産業協議会/
弘前大学大学院医学系研究科)

S9-3 軽度認知障害を含む認知症ハイリスク群に対する
スルフォラファングルコシノレートの長期経口投与の有効性

清水 直 (カゴメ株式会社 食健康研究所/

弘前大学 大学院医学研究科 野菜生命科学講座)

S9-4 ビフィズス菌による認知機能対策

大野 和也 (森永乳業株式会社 バイオティクス研究所 菌体機能研究室)

S9-5 脳の健康と加齢に関するキリンの研究

森田 匡彦 (キリンホールディングス株式会社 ヘルスサイエンス研究所)

S9-6 日本認知症予防学会エビデンス委員会の活動について

森下 竜一 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学)

共催：一般社団法人健康食品産業協議会

第 6 会場 3F 中会議室 302

9:10~9:50 教育講演 1

「日本認知症予防学会に期待されること」

座長：濱野 忠則 (金沢医科大学 高齢医学講座)

演者：浦上 克哉 (鳥取大学 医学部 認知症予防学講座)

10:00~10:40 教育講演 2

「認知症の人と「共に生きる楽しさ」 BPSD ケア」

座長：飯田 康江 (社会福祉法人 ふらて福祉会)

演者：内田 陽子 (群馬大学 大学院 保健学研究科)

13:10~13:50 教育講演 3

「認知レジリエンス」

座長：荒川 千晶 (医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷)

演者：長田 乾 (横浜総合病院 神経内科)

14:10~15:50

口演 4 「共生社会の実現へ向けた活動」

座長：太田 康之（山形大学医学部第三内科神経学分野）

内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

O4-1 2015 年から地域でネットワークを広げ、認知症予防と支えあいの街づくりを
取り組んだ 12 年間の活動報告

伊藤 米美¹⁾、右京 幸男¹⁾、山形 敬直²⁾、平井 清美³⁾

1) NPO 法人認知症予防ネット神戸、2) 中御影区民会、3) 中御影笑和会

O4-2 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」施行後初の
「認知症の日」に開催した認知症予防啓発イベントについて

吉田 祐一、新部 美香、宮原 麗佳、渡邊 慎也、鶴岡 高宏、櫻田 洋介、齋藤 達也、丸 弘一、
井上 純子、今村 和子、太田 義人、篠原 靖志

地方独立行政法人さんむ医療センター 認知症ケアチーム

O4-3 認知症の方が安心して暮らせる街づくり
～桑園認知症ケア研究会（通称オレンジ桑園）の活動について～

小川 香織¹⁾、橋本 茂樹²⁾、中野 正剛³⁾、原井 美佳⁴⁾、相山 千晴⁵⁾

1) (株) ナカジマ薬局、2) 医療法人溪仁会リハビリテーション病院、3) 市立病院前老年内科メモリークリニック、
4) 札幌市立大学、5) なの花薬局桑園店

O4-4 地域高齢住民のフレイル・認知機能調査を踏まえた
認知症共生社会実現への貢献を目指して

太田 康之¹⁾、近藤 敏行¹⁾、伊関 千書²⁾、星 真行³⁾、山田 茂樹⁴⁾、青柳 幸彦⁵⁾

1) 山形大学 医学部 内科学第三講座神経学分野、2) 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学分野、
3) 福島県立医科大学保健科学部 理学療法学科、4) 名古屋市立大学 脳神経外科学、5) 株式会社デジタルスタンダード

O4-5 音楽療法アウトリーチによる県間・都市間交流の場の設計
—地域寺院を拠点とした多世代交流モデルの実践報告—

山下 一郎¹⁾、坂口 尚安²⁾、土佐 和重²⁾、土佐 乃里子²⁾、伊藤 佳宏²⁾、林 博之²⁾、中根 篤²⁾、
橋本 りゑ子³⁾、原 和子⁴⁾、まほろば 遊⁵⁾

1) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科看護国際推進センター研究室、
2) Piash/ASW アクティビティ ソーシャルワーカー Music Caravan、3) 箏曲龍音會、
4) 岐阜保健大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
5) 名古屋芸術大学 芸術学部芸術学科 音楽領域 声優アクティングコース

O4-6 地域在住認知症高齢者の社会参加と主観的ウェルビーイングとの関連：
JAGES-Home Care 横断研究

藤原 聡子¹⁾、野口 泰司²⁾、河口 謙二郎³⁾、近藤 克則^{1,4)}

1) 医療経済研究機構、2) 浜松医科大学、3) 東京女子医科大学、4) 千葉大学

O4-7 認知症疾患医療センターによる出前講座を通じた予防ネットワークの構築
—地域の困りごとの把握と早期相談につなげるための役割—

井手 順子、松山 賢一、宇都宮 豊、永濱 佳奈、櫻田 優子、鶴屋 邦江

医療法人実風会 新生病院 認知症疾患医療センター

O4-8 認知症カフェ参加者の主体性回復と地域生活への移行

上原 孝介

一般社団法人栄樹庵 SHIGETA ハウスプロジェクト

O4-9 【実践活動報告】認知症予防専門士の時代に即した役割と実践

中村 拓司

TACT

O4-10 臨床検査技師を目指す学生の認知症に対する意識調査について

石井 恭子

日本栄養大学（女子栄養大学）栄養学部

16:00~17:30 シンポジウム 10

「フレイル健診と認知症予防施策の一体的推進

（日本サルコペニア・フレイル学会 合同シンポジウム）」

座長：荒井 秀典（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

櫻井 孝（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

- S10-1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施におけるフレイル健診と認知症予防施策の有機的連携を目指す
飯島 勝矢（東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター）
- S10-2 介護予防（主任）運動指導員の育成と活動状況
大淵 修一（東京都健康長寿医療センター研究所）
- S10-3 自治体における認知症早期発見・早期介入のフロー確立に向けた大規模実証研究（J-DEPP 研究）の成果報告
篠崎 未生（国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）
- S10-4 フレイル予防と認知症予防への嗅覚機能検査の意義
浦上 克哉（鳥取大学 医学部 認知症予防学講座）

ポスター会場 2F 中会議室 201

14:10~15:00 ポスター 1 「MCI・認知症の臨床」

座長：濱野 忠則（金沢医科大学 高齢医学講座）

- P1-1 アルツハイマー型認知症の行動心理学的症状（BPSD）に対するブレクスピプラゾール投与の検討
武久 康¹⁾、川口 洋子¹⁾、玉川 理恵²⁾、高谷 実乃里²⁾、小川 さおり²⁾
1)岡山赤十字病院 脳神経内科、2)岡山赤十字病院 リハビリテーション科
- P1-2 長野県上小地域での抗アミロイド β 抗体薬治療連携パス導入後の当院における治療状況と課題
江澤 直樹¹⁾、牛山 祐子²⁾、澤田 美乃里¹⁾、上條 祐衣¹⁾、古谷 力也¹⁾
1)信州上田医療センター 脳神経内科、2)信州上田医療センター 看護部
- P1-3 当院における Lecanemab の使用経験
石澤 邦彦¹⁾、平野 哲²⁾、漆田 優樹¹⁾、青木 蕉¹⁾、大塚 千聖¹⁾、瓦林 毅¹⁾、甘利 雅邦¹⁾、高玉 真光³⁾、東海林 幹夫¹⁾
1)老年病研究所附属病院 脳神経内科、2)老年病研究所附属病院 リハビリテーション部、3)老年病研究所附属病院 内科
- P1-4 当院におけるレカネマブの投与状況の解析
涌谷 陽介、高尾 芳樹、角田 慶一郎、菱川 望
倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター
- P1-5 認知症症状を呈したビタミン B12 欠乏症の 18 例
遠藤 雄司¹⁾、遠藤 勝洋¹⁾、齋藤 剛志²⁾、石川 敏仁¹⁾、松本 康史¹⁾、太田 守¹⁾
1)医療法人 辰星会 枳記念病院 脳神経外科、2)医療法人 辰星会 枳記念病院 薬剤科

14:10~15:00 ポスター 2 「認知症の非薬物療法」

座長：八森 淳（医療法人 MoLead つながるクリニック）

- P2-1 認知症予防および改善を目指しているディサービスについて——料理（調理および会食）と認知症予防運動の実践——
柳本 有二¹⁾、澤田 浩秀²⁾
1)福井工業大学 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科、2)四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科

P2-2 通所介護施設における ICT 活用型非薬物的支援による認知症症状の悪化予防

産賀 崇由、湯山 和子、源嶋 明人、長倉 美佳、加藤 佳子、林 小百合、牧野 直典、山根 健、
広瀬 丈史、山根 洋一
SI 総合研究所

P2-3 通所介護における社会参加型活動と認知症関連症状の軽減

源嶋 明人、産賀 崇由、湯山 和子、長倉 美佳、加藤 佳子、林 小百合、牧野 直典、山根 健、
広瀬 丈史、山根 洋一
SI 総合研究所

P2-4 口腔ビートプログラムが高齢者の空間記憶課題および前頭前野活動に及ぼす即時効果：リズムを活用した口腔運動の効果検証

宮崎 敦子¹⁾、森 隼人²⁾、植木 佳緒里^{1,3)}、木村 信之³⁾、井上 義郎⁴⁾、檜山 敦^{1,5)}
1) 東京大学 先端科学技術研究センター身体情報学分野、2) 有限会社 スーパーリハ、3) TOPPAN 株式会社、
4) 医療法人 祥義会、5) 一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科

P2-5 認知症の悪化と思われた症状が Ca・Mg・VD サプリメントの過剰摂取が原因だった症例～薬剤師が見つけた危険なポリサプリ～

藤原 将平
南天薬局

14:10～15:00 ポスター 3 「認知症診断」

座長：吉澤 浩志（東京女子医科大学八千代医療センター 脳神経内科）

P3-1 タウと皮質下出血に 18F-MK-6240 の集積を認め、交叉性失語を認めたアルツハイマー病の 1 症例

池田 将樹¹⁾、甘利 雅邦¹⁾、石橋 賢士²⁾、松村 賢^{3,4)}、笠原 浩生⁵⁾、豊原 潤²⁾、石井 賢二²⁾、
岡本 幸市¹⁾、高玉 真光¹⁾
1) 老年病研究所附属病院 脳神経内科/内科、2) 東京都健康長寿医療センター、3) 中央群馬脳神経外科病院、4) 渋川中央病院、
5) 群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学

P3-2 髄液 α -シヌクレイン凝集とアルツハイマー型認知症の進行性認知機能低下及び APOE ϵ 4 遺伝子との関連

足立 弘明¹⁾、強 強¹⁾、豊田 知子^{1,2)}、黄 哲¹⁾
1) 産業医科大学 医学部 神経内科学講座、2) 福西会病院 脳神経内科

P3-3 物忘れ外来受診患者のホモシステイン値

林 則次¹⁾、濱野 忠則^{1,2)}、山田 雅¹⁾、白藤 法道³⁾、榎本 崇一³⁾、上野 亜佐子³⁾、山中 大貴³⁾、
濱口 毅⁴⁾、上原 隆⁵⁾、石神 慶一郎¹⁾、高橋 淳¹⁾、岩井 邦充¹⁾、大黒 正志¹⁾
1) 金沢医科大学 医学部 高齢医学講座、2) 金沢医科大学病院認知症センター、3) 福井大学医学部脳神経内科、
4) 金沢医科大学脳神経内科学、5) 金沢医科大学精神神経科学

P3-4 進行性核上性麻痺における形態画像的評価と認知機能の関連性の検討

高澤 秀平、山下 拓実、張 馨日、三井 太一、前坂 弘輝、古田 理佐子、田中 遼、松田 憲幸、
渋谷 涼子、林 智宏、山本 真守、温井 孝昌、山下 徹
富山大学附属病院 脳神経内科

P3-5 地域在住高齢者における活動習慣，社会的環境，IADL と認知機能低下との関連

兼田 絵美¹⁾、上城 憲司²⁾、宮崎 純弥³⁾、菅沼 一平³⁾、村田 伸³⁾、中村 貴志⁴⁾
1) 東京医療保健大学、2) 宝塚医療大学、3) 京都橘大学、4) 福岡教育大学

15:00～15:50 ポスター 4 「認知症研究」

座長：島村 宗尚（大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子幹細胞再生治療学）

P4-1 視野検査、嗅覚検査を利用した認知機能障害推定の検討

佐藤 守一¹⁾、今枝 孝夫¹⁾、安藤 達哉²⁾、中条 朱希²⁾、中窪 翔³⁾、野坂 進之介³⁾、見須 裕香³⁾、
横山 尚代⁴⁾、石渡 要⁵⁾、藤田 怜⁵⁾、早川 和美¹⁾、島田 裕之³⁾
1) 株式会社豊田中央研究所、2) 豊田通商株式会社、3) 国立長寿医療研究センター、4) 株式会社ファインデックス、
5) 長谷川香料株式会社

P4-2 物忘れ外来における腸内細菌叢検査導入の実装可能性：探索的観察研究

吉田 勝臣^{1,2,3)}、齋藤 真理子²⁾、野田 春希^{2,3)}、後藤 有人²⁾、内門 大丈³⁾

1) 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科、2) 山本メディカルセンター、
3) 彰耀会 メモリーケアクリニック湘南

P4-3 歩行時の腰部および足部 IMU データに基づく軽度認知障害の推定

鈴木 明宏^{1,5)}、猿舘 遼¹⁾、佐藤 真心¹⁾、上城 憲司²⁾、兼田 絵美³⁾、見形 紘子²⁾、門脇 弘樹⁴⁾、
中村 貴志⁴⁾

1) 一関工業高等専門学校、2) 宝塚医療大学、3) 東京医療保健大学、4) 福岡教育大学、5) 磐井 AI 株式会社

P4-4 ウェアラブル歩行計測と機械学習による高齢者軽度認知障害の予測

沈 君偉¹⁾、永田 佳子²⁾、嶋本 稔也^{3,4)}、松原 誠仁⁵⁾、中村 優斗⁶⁾、佐藤 史哉⁶⁾、本島 拓哉³⁾、
内野 克尚³⁾、森 麗³⁾、野上 美和²⁾、原田 裕希¹⁾、内野 誠³⁾、中村 振一郎¹⁾

1) 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構 フロンティアデータサイエンス化血研寄附講座、
2) 株式会社くまもと KDS グループ、3) くまもと南部広域病院 リハビリテーション部 リハビリテーション科、
4) 熊本大学 大学院医学教育部 脳神経内科、5) 熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科、
6) 熊本大学 大学院自然科学教育部 材料・応用化学専攻

P4-5 特発性正常圧水頭症におけるドパミントランスポーターシンチグラフィー集積低下例の予後の解析

佐藤 裕康、石川 舞、佐藤 誠勝、佐藤 大祐、近藤 敏行、猪狩 龍佑、太田 康之
山形大学 医学部 医学科

15:00~16:00 ポスター 5 「認知症ケア・リハビリテーション」

座長：山上 徹也（群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション学講座）

P5-1 A 病院におけるせん妄・BPSD への薬剤使用ガイドラインの作成

松本 美江、堀口 布美子、佐伯 恵一、高玉 真光、東海林 幹夫

公益財団法人 老年病研究所附属病院

P5-2 軽度認知障害に対する運動療法と認知リハビリテーションを併用した介入の有用性～認知機能と内側側頭葉領域容積の関連について～

島川 悠大¹⁾、菊地 豊^{1,2)}、一場 弘行^{1,2)}、中島 亜紗美¹⁾、針谷 康夫^{3,4)}、池田 佳生⁵⁾、美原 盤⁴⁾

1) 公益財団法人 脳血管研究所美原記念病院 神経難病リハビリテーション課、
2) 公益財団法人 脳血管研究所美原記念病院 パーキンソン病・運動障害センター、
3) 公益財団法人 脳血管研究所美原記念病院 認知症疾患医療センター、
4) 公益財団法人 脳血管研究所美原記念病院 脳神経内科、5) 群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学

P5-3 有料老人ホーム入居者におけるリハビリテーションプログラムの内容と認知症発症との関連

大和 諭志

株式会社ハイメディック

P5-4 慢性期医療機関における COVID-19 院内感染拡大による音楽療法中断の高齢患者の認知機能面への影響

的場 孝盛¹⁾、藤野 園子²⁾、若井 明日香²⁾、戸田 かおり²⁾

1) 初富保健病院 内科、2) 初富保健病院 音楽療法部門

P5-5 安静度理解が乏しい上腕骨折患者に対する多職種介入により理解向上とADL 拡大を認めた一例

市橋 永菜

済衆館病院 リハビリテーション技術科

P5-6 認知トレーニング療法に ChatGPT を利用した「フォト俳句・川柳」の評価

井手 芳彦、辻 智子、溝上 由紀子、松尾 あすか、里崎 泰子、松尾 七美紀、日和田 正俊、
福田 隆浩

佐世保中央病院 認知症疾患医療センター

プログラム 第2日目 9月12日(土)

第1会場 2F メインホールC

9:00~10:30 シンポジウム 11

「認知症診療・認知症予防におけるデジタル技術・AI・ICTの活用」

座長：武田 朱公（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

S11-1 マルチモーダル AI と RAG による認知症診療支援モデルの開発

竹屋 泰（大阪大学大学院医学系研究科老年看護学教室）

S11-2 認知症予防から診療・共生までをつなぐ地域 DX

—HIRATSUKA モデルにおけるデジタル技術・AI・ICTの実装—

内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

S11-3 認知症診療・予防における AI 技術の活用

亀山 祐美（杏林大学医学部附属病院もの忘れセンター）

S11-4 認知症診療・予防における画像 AI 解析の活用

遠藤 浩信（量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
脳機能イメージング研究センター）

10:40~12:10 シンポジウム 16

「認知症予防に対する多因子介入研究をめぐる最近の知見」

座長：沖 侑太郎（神戸大学大学院医学系研究科 未来社会医学専攻）

杉本 大貴（国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）

S16-1 多因子介入の最新の動向と社会実装に向けた課題

内田 一彰（国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）

S16-2 MCI の音声スクリーニング

清重 映里（国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部）

S16-3 多因子介入のための人材育成

小野山 絢香（国立長寿医療研究センター）

S16-4 認知症予防に対する多因子介入の社会実装

—J-MINT PRIME Tamba から TAMBA study, コグニケアへの展開—

沖 侑太郎（神戸大学 大学院 医学系研究科）

S16-5 熊本県菊陽町での取り組みと社会実装

山縣 和也（熊本大学大学院 生命科学研究部 健康長寿代謝制御研究センター）

12:20~13:10 ランチョンセミナー 4

「認知症予防の「今」とこれから—リスク因子介入と抗アミロイド β 抗体療法—」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

演者：眞鍋 雄太（神奈川歯科大学歯学部臨床先端医学系認知症医科学分野
認知症・高齢者総合内科）

共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

- 13:20～14:10 **特別講演 3**
「ポジティブな認知症との向き合い方」
 座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座（寄附講座））
 演者：山口 晴保（群馬大学名誉教授）
- 14:20～15:20 **口演 5 「認知症教育・啓発」**
 座長：河月 稔（鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座）
 山田 武志（公益社団法人日本薬剤師会）
- O5-1 **地域と急性期をつなぐ継続看護の視点—予防的ケアの浸透に向けた実践の整理—**
 伊東 幸子、山内 典子
 独立行政法人国立病院機構静岡医療センター
- O5-2 **啓発スライド作成を契機とした地域における認知症支援活動の展開**
 下田 実
 磯久クリニック（現：退職）
- O5-3 **市民へのヒアリングフレイル啓発が難聴高齢者の早期発見・補聴器装用に及ぼす効果 山形市「聴こえくっきり事業」3年間の実践**
 中石 真一路
 株式会社聴脳科学総合研究所
- O5-4 **竹原市「脳ライフ教室」において社会参加を促す活動の狙いがもたらしたファイブ・コグの結果からみる認知症予防の効果について**
 宮崎 洋幸¹⁾、野津 誠斗²⁾、森岡 啓志²⁾、古信 遥²⁾、岡田 麻里子³⁾、佐々木 節美³⁾、伊藤 泰加³⁾
 1) 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科、2) 株式会社ツグハグ、
 3) 竹原市市民福祉部 地域支えあい推進課 高齢者支援係
- O5-5 **百歳体操継続支援に向けた評価スケールの模索（第2報）
 ～筋肉量・ロコモ度テスト・MMSE を用いた個別評価の試み～**
 森上 美香、宮原 龍矢、宇野 大輔、藤本 香菜子、辻本 直美、光山 勝慶
 医療法人桜十字 メディメッセ桜十字予防医療センター
- O5-6 **当院におけるドナネマブ投与者に対するリハビリテーション科の取り組み**
 眞辺 拓人¹⁾、石元 美知子¹⁾、森木 章人²⁾、内田 泰史²⁾
 1) 医療法人治久会もみのき病院 リハビリテーション科、2) 医療法人治久会もみのき病院 脳神経外科
- 15:30～16:20 **厚生労働省講演**
「認知症に関するテーマ」
 座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）
 演者：迫井 正深（厚生労働省）
- 16:30～18:00 **シンポジウム 21**
**「『老年医学と認知症予防の未来』—多領域連携による新たな展開—
 （日本老年医学会 合同シンポジウム）」**
 座長：清水 聰一郎（東京医科大学 高齢総合医学分野）
 内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）
- S21-1 **日本老年医学会の立場から：コホート研究とエビデンス**
 清水 聰一郎（東京医科大学 高齢総合医学分野）
- S21-2 **認知症予防の観点から考える人生後半期のうつ病**
 笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室）

- S21-3 認知症予防における医科歯科連携—counterpart としての歯科の重要性
眞鍋 雄太（神奈川歯科大学 歯学部 臨床先端医学系認知症医科学分野）
- S21-4 抗 A β 抗体治療と認知症予防
馬場 康彦（福岡大学 医学部 脳神経内科学講座）

第2会場 2F メインホール B

9:00~10:30 シンポジウム 12

「新たな領域へ検査そして地域へ～臨床検査技師の役割と可能性」

座長：松田 美津子（福島県立医科大学附属病院 検査部）
松熊 美千代（三井記念病院 臨床検査部）

- S12-1 耳鼻科領域で認定認知症領域検査技師の関わり方
阿部 朋子（東北医科薬科大学病院 検査部）
- S12-2 院内業務で得た視点を地域へ生かす臨床検査技師の認知症予防活動
梅田 啓江（公立森町病院 臨床検査科）
- S12-3 認知症事業で住民支援！行政支援！地域支援！
高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構）

10:40~12:10 シンポジウム 17

「認知症の発症・進行予防に向けた多面的支援」

座長：赤津 裕康（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
ロコモフレイルセンター/在宅医療・地域医療連携推進部）
大沢 愛子（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科）

- S17-1 認知症の発症・進行予防から見た
—国立長寿医療研究センター・ロコモフレイルセンターの取り組み—
赤津 裕康（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター ロコモフレイルセンター）
- S17-2 栄養・食事：認知症の『リスク低減』に関する疫学的エビデンス
遠又 靖丈（神奈川県立保健福祉大学）
- S17-3 コミュニケーションの低下を予防する
吉村 貴子（京都先端科学大学）
- S17-4 認知症の発症・進行予防における ADL・IADL 支援の役割
前島 伸一郎（国立長寿医療研究センター）
- S17-5 生活習慣病と認知症予防
伊東 範尚（市立伊丹病院 老年内科）

13:20~14:10 特別講演 4

「認知症の人の Advance Care Planning」

座長：山本 泰司（神戸大学保健管理センター）
演者：繁田 雅弘（栄樹庵診療所/メモリーケアクリニック湘南）

14:20~15:40

口演 6 「認知症予防への取り組み」

座長：櫻井 孝（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

中神 啓徳（大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学寄附講座）

O6-1 地域在住高齢者における認知機能と血圧、身体活動量および睡眠との関係

深町 郁葉、野田 明子、山崎 球人、本田 美風、武田 湖州江

中部大学大学院 生命健康科学研究科

O6-2 睡眠と身体活動の客観的評価とメンタルヘルスの関連

宮田 聖子¹⁾、河合 敬太^{2,3)}、藤城 弘樹¹⁾、野田 明子⁴⁾、中込 和幸⁵⁾、尾崎 紀夫³⁾、池田 匡志¹⁾

1)名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野、2)フライブルク大学医学部精神科、

3)名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学、4)中部大学大学院生命健康科学研究科生命医科学分野、

5)国立精神・神経医療研究センター

O6-3 地域在住高齢者における睡眠・覚醒リズムと認知機能

野田 明子¹⁾、山崎 球人¹⁾、深町 郁葉¹⁾、本田 美風¹⁾、奥田 将人²⁾、宮田 聖子³⁾、池田 匡志³⁾

1)中部大学大学院生命健康科学研究科、2)たじみすいみんクリニック、3)名古屋大学大学院医学系研究科

O6-4 地域在住成人における骨格筋量と認知機能の関連：

InBody 測定と認知機能評価による横断研究

竹田 桃花、佐藤 凜、吉田 保子

新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科

O6-5 もの忘れ外来受診者における処方薬剤と認知機能との関連

高橋 怜真¹⁾、笠原 浩生¹⁾、瓦林 毅²⁾、池田 佳生¹⁾

1)群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学、2)老年病研究所附属病院 脳神経内科

O6-6 R7 年度より保険者評価項目となった難聴対策における受診勧奨

—伝音性難聴の視点追加による受診行動への影響—

峰村 直樹^{1,2)}、中石 真一路^{1,3)}

1)NPO 法人ヒアリングフレイル予防推進協会、2)有限会社 峰村、3)株式会社 聴脳科学総合研究所

O6-7 時計描画テストと歩行能力の関連：通所介護利用者における横断研究

奥村 伊世¹⁾、中島 文音^{1,2)}

1)リハビリデイサービスルピナス 朱雀、2)リハビリデイサービスルピナス 木津川

O6-8 ～『病』を診ることは出来ないが、『人』を看ることなら私にも出来る～

堀田 京子、宮下 晶子、北澤 佳寿美、三浦 久美子、北原 奈央、三浦 美雪、春日 美佐子、

眞田 優子、川原 泰弘、河野 啓一

医療法人偕峰会 駒ヶ根共立クリニック

第3会場 2F メインホール A

9:00~10:30

シンポジウム 13

「脳血管を守って認知症予防（日本脳血管・認知症学会 合同シンポジウム）」

座長：田中 亮太（自治医科大学附属病院脳卒中センター／

自治医科大学附属病院脳神経内科）

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

S13-1 神経心理学から見たアルツハイマー病と血管性認知症

村上 秀友（昭和医科大学 医学部 内科学講座脳神経内科学部門）

S13-2 脳卒中後認知症予防の最前線—血管保護から神経再生へ—

山下 徹（富山大学 医学部 脳神経内科）

S13-3 認知症予防と認知予備能

吉澤 浩志（東京女子医科大学八千代医療センター 脳神経内科）

S13-4 老化細胞制御の視点からの脳血管アンチエイジング

中神 啓徳（大阪大学 医学系研究科 健康発達医学寄附講座）

10:40~12:10 シンポジウム 18

「植物を利用した認知症予防の補完代替療法を考える」

座長：住友 和弘（東北医科薬科大学若林病院 総合診療科）
西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

S18-1 都道府県単位の生態学的研究による森林率と認知症受療率の関連：
逆 U 字型モデルの検証と医療アクセスの考察

有馬 遥太郎（東北医科薬科大学大学院医学研究科 老年地域医療学/
東北医科薬科大学若林病院 薬剤部）

S18-2 居室内に設置したスギ板の曝露による認知機能および気分の変化に関する検討
住友 和弘（東北医科薬科大学若林病院 総合診療科）

S18-3 スギ板の香りによる認知機能、心理的改善の補完代替療法の検討
西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

S18-4 スギ板の香りに含まれる成分と医療・介護分野での利用可能性について
宮澤 俊輔（公益財団法人 日本住宅・木材技術センター）

14:20~15:20 口演 7 「認知症の多職種連携」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座（寄附講座））
高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構）

O7-1 千葉県勝浦市における行政連携型認知症スクリーニングの現状と課題

野村 浩一^{1,2)}、五十嵐 聡実^{1,2)}、須田 智²⁾
1)医療法人 SHIODA 塩田病院 脳神経内科、2)日本医科大学付属病院 脳神経内科

O7-2 全国の市町村における認知症初期集中支援チームの配置と活動把握状況

進藤 由美^{1,3)}、鷺見 幸彦^{1,2)}、大沢 愛子¹⁾、堀部 賢太郎¹⁾、武田 章敬¹⁾、前島 伸一郎¹⁾
1)国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター、2)社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター、
3)地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

O7-3 認知症の人の地域支援における、作業療法士と認知症地域支援推進員・
生活支援コーディネーターとの連携の現状と課題

山下 英美
名古屋大学 医療科学部 作業療法学科

O7-4 地域医療介護連携を基盤としたインスリンイコデクと CGM の併用による
認知症合併高齢糖尿病支援

高橋 友美¹⁾、近藤 誠哉²⁾、神田 香代美³⁾、小野 麻紀³⁾、谷口 幸子³⁾、藤野 孝雄⁴⁾
1)白杵市医師会立コスモス病院 地域連携室、2)白杵市医師会立コスモス病院 糖尿病・内分泌内科、
3)白杵市医師会立コスモス病院 看護部外来、4)藤野循環器科内科医院

O7-5 認知症患者に寄り添う病棟検査技師の役割—慢性期病院における関わりと実践

松井 京子
富家会 富家病院

O7-6 抗アミロイド抗体薬治療を円滑に運用するための地域連携体制の構築

木村 成志
大分大学医学部神経内科学講座

9:00~10:30 シンポジウム 14

「日本脳神経外科認知症学会 合同シンポジウム」

座長：中根 一（帝京大学医学部附属溝口病院脳神経外科）

厚地 正道（医療法人 慈風会 厚地脳神経外科病院）

S14-1 当院における認知症診療の現状～介護者アンケートから見えること～

日暮 雅一（ほどがや脳神経外科クリニック）

S14-2 脳神経外科もの忘れ外来を起点とした認知症予防と地域共生モデルの一例

一行きつけの病院、かかりつけのカフェー

石井 映幸（ふれあい鶴見ホスピタル）

S14-3 大学病院勤務脳神経外科医における認知症診療のジレンマと将来展望

高橋 雅道（東海大学 医学部 脳神経外科）

S14-4 脳神経外科医が認知症診療に参加する意義

吉村 晋一（関西医科大学総合医療センター）

10:40~12:10 シンポジウム 19

「各専門医の立場から（日本正常圧水頭症学会 合同シンポジウム）」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）

太田 康之（山形大学医学部第三内科神経学分野）

S19-1 精神神経科専門医の立場で考える正常圧水頭症

内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

S19-2 脳神経内科専門医の立場で考える Hakim 病

—Glymphatic system と Alzheimer 病オーバーラップの視点から—

山下 徹（富山大学 医学部 脳神経内科）

S19-3 脳神経外科専門医の立場で考える特発性正常圧水頭症（ハキム病）

厚地 正道（医療法人 慈風会 厚地脳神経外科病院）

12:20~13:10 ランチョンセミナー 5

「始められない認知症医療を変える～地域医療に求められる新たな視点～」

座長：長田 乾（横浜総合病院臨床研究センター/横浜市認知症疾患医療センター）

演者：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

共催：東和薬品株式会社

13:20~14:10 認知症予防ナースの集い

「『認知症予防ナースのこれから』～志を同じくする仲間と語る～」

14:20~15:40 口演 8 「認知症と運転・ICT」

座長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）
涌谷 陽介（倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター）

- O8-1 大学生におけるスマートフォン使用の質と認知機能の関連：
ショート動画視聴とアニメ視聴の比較
佐藤 凛、竹田 桃花、吉田 保子
新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科
- O8-2 高齢運転者の免許返納阻害要因と運転自信の関連：MOGI 体験者における検討
中畑 海咲¹⁾、金島 由佳¹⁾、三宅 佳花¹⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾
1) 川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター、2) 川崎医科大学附属病院 脳神経内科
- O8-3 実車運転評価における数量化手法の検討と基準値策定にむけた試み
堀川 悦夫¹⁾、井手 将文¹⁾、杉 剛直²⁾、王 瑞敏²⁾、内田 あけみ¹⁾、井上 裕香子³⁾、江里口 誠³⁾、
雪竹 基弘⁴⁾
1) 佐賀大学 ライフロングモビリティ研究・支援講座、2) 佐賀大学理工学部、3) 佐賀県医療センター好生館、
4) (医) 高邦会 高木病院
- O8-4 高齢ドライバの日常公道走行における右左折時安全確認行動と
認知機能検査 TDAS 下位項目の関連
永富 泰次¹⁾、石川 牧子¹⁾、鈴木 美緒²⁾
1) 株式会社デンソー、2) 東海大学
- O8-5 高齢ドライバーの運転免許更新制度の国際比較
鈴木 美緒¹⁾、徳山 相世²⁾
1) 東海大学 建築都市学部 土木工学科、2) 元・東海大学
- O8-6 MCI ドライバーの急ブレーキ挙動の特性分析
並木 靖幸¹⁾、鈴木 美緒²⁾、平塚 喜之¹⁾
1) NPO 法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学 建築都市学部 総合理工学研究科
- O8-7 自動車運転と認知機能、身体機能の関連性についての調査
平塚 喜之¹⁾、鈴木 美緒²⁾、並木 靖幸¹⁾
1) NPO 法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学 建築都市学部 総合理工学研究科
- O8-8 コミュニケーションロボットによる高齢者運転支援の効果検証（第 2 報）
～褒める機能による自己効力感の向上と同乗者効果の検証～
佐藤 彩子¹⁾、田中 貴紘²⁾、亀井 俊之³⁾、佐藤 和貴³⁾、佐藤 太亮⁴⁾
1) 住友商事株式会社 自動車グループ Beyond Mobility SBU、2) 名古屋大学 未来社会創造機構、3) シャープ株式会社、
4) 株式会社ポットスチル

第 5 会場 3F 中会議室 301

9:00~10:30 シンポジウム 15

「海外（台湾・シンガポール）の研究者との合同シンポジウム」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
林 峻暉（台湾高齢産業創新発展協会 名誉理事長）

- S15-1 From Longevity to Healthy Longevity :
What Singapore's Approach Offers—Insights for Ageing Societies
Andy Seet (PCF Sparkle Care Limited)
- S15-2 日本とシンガポールの健康寿命と平均寿命の違いについての考察
西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
- S15-3 The Current Status and Future Prospects of Dementia Prevention and
Treatment in Taiwan
Chiung-Chih Chang (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital ;
National Sun-Yat San University, Taiwan)

S15-4 認知症予防～日本と台湾の更なる交流に向けて～

浦上 克哉（鳥取大学 医学部 認知症予防学講座）

S15-5 台湾における「とっとり方式認知症予防プログラム」の社会実装と地域展開

林 峻暉（台湾高齢産業創新発展協会 名誉理事長）

10:40～12:10 シンポジウム 20

「日本抗加齢医学会 合同シンポジウム」

座長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座）

S20-1 京丹後長寿研究からみた認知機能と腸内細菌相関

内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座）

S20-2 認知症と日本食：腸内細菌叢の視点から

佐治 直樹（国立長寿医療研究センター もの忘れセンター）

S20-3 口腔環境から認知症予防を考える

阪井 丘芳（大阪大学 大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学講座）

S20-4 DX/AI を用いた認知症早期診断の可能性と新規治療戦略

武田 朱公（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

12:20～13:10 ランチョンセミナー 6

座長：森下 竜一（一般社団法人 日本認知症予防学会/

大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座）

1 ブレインウェルネスを目指した脳年齢計測アプリと脳年齢サポートアプリ活用

武田 朱公（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学/

大阪精神医療センター・こころの科学リサーチセンター）

2 医療 MaaS による地域スクリーニングと認知症早期発見・早期介入への展開可能性

水谷 誠（MONET Technologies 株式会社 MaaS 共創部）

共催：株式会社アイ・ブレインサイエンス

14:20～16:20 口演 9 「認知症診断」

座長：佐治 直樹（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）

眞鍋 雄太（神奈川歯科大学歯学部臨床先端医学系認知症医科学分野

認知症・高齢者総合内科）

O9-1 アルツハイマー病に対する抗 A β 抗体療法を施行して～フローアップ施設からの報告～辻 正純¹⁾、石川 晴美²⁾

1) 辻内科循環器科歯科クリニック・内科、2) 国立病院機構 埼玉病院 神経内科

O9-2 モーションセンサー式身体機能評価法を用いた立ち上がり動作の客観的評価と認知機能の関連

大島 万奈¹⁾、武田 朱公^{2,3)}、伊藤 祐規^{2,3)}、勝久 美月^{2,3)}、安岡 佑珠¹⁾、中嶋 恒男^{2,3)}、三木 渉⁴⁾、手代木 紳^{3,4)}、山本 翔^{3,4)}、大河原 桃子^{3,4)}、竹屋 泰¹⁾、山本 浩一⁴⁾、森下 竜一²⁾

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 老年看護学研究室、2) 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学、

3) 大阪精神医療センター こころの科学リサーチセンター、4) 大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学

09-3 地域在住高齢者の最大速度立ち上がり時の左右方向変動速度の低下は軽度認知障害と独立して関連する

井上 大聖^{1,2)}、大西 秀典³⁾、水上 保孝³⁾、岡本 智子⁴⁾、菅原 慎弥^{1,5)}、中島 裕也^{1,5)}、久保田 雅史⁶⁾、渡邊 拓²⁾、大濱 弘光⁷⁾、榎本 崇一⁸⁾、井川 正道⁹⁾、林 寛之¹⁰⁾、山村 修³⁾

1) 福井大学大学院 医学系研究科 地域医療推進講座 博士課程、2) 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部、3) 福井大学 医学部 地域医療推進講座、4) 福井大学 医学部 老年看護学、5) 福井医療大学 保健医療学部、6) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系、7) 福井大学医学部附属病院 総合診療部、8) 福井大学医学部附属病院 脳神経内科、9) 福井大学 医学部 地域健康学講座、10) 福井大学医学部附属病院 救急部

09-4 認知症予防・早期発見スクリーニング体制構築のための検証研究

下田 有紀¹⁾、河月 稔²⁾、荒木 さおり³⁾、西本 亜希子³⁾、吉村 純子⁴⁾、池田 伸夫⁵⁾、浦上 克哉¹⁾

1) 鳥取大学 医学部 保健学科 認知症予防学講座 (寄附講座)、2) 鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座、3) 鳥根県立大学 看護栄養学部 看護学科、4) 鳥取看護大学 看護学部看護学科 成人・老年看護学領域、5) 北栄町福祉課 地域包括支援センター

09-5 地域住民を対象としたデジタル技術によるコグニティブ・フレイル簡易スクリーニング法の有用性検証

安岡 佑珠¹⁾、伊藤 祐規^{2,3)}、勝久 美月^{2,3)}、大島 万奈¹⁾、中嶋 恒男^{2,3)}、三木 渉⁴⁾、手代木 紳^{3,4)}、山本 翔^{3,4)}、大河原 桃子^{3,4)}、岸野 義信⁴⁾、竹屋 泰¹⁾、森下 竜一²⁾、武田 朱公^{2,3)}

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 老年看護学教室、2) 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学、3) 大阪精神医療センター こころの科学リサーチセンター、4) 大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学

09-6 介護施設における聞こえに関する多面的評価と簡易スクリーニング手法の有効性に関する横断研究

阿部 朋子¹⁾、佐藤 輝幸²⁾、遠藤 康弘¹⁾、太田 伸男²⁾、小堺 利恵¹⁾、高橋 伸一郎¹⁾

1) 東北医科薬科大学病院 検査部、2) 東北医科薬科大学病院 耳鼻咽喉科

09-7 日本語版 Cognitive Reserve Index Questionnaire の作成と妥当性の検証

片山 脩、山口 亨、山際 大樹、赤井田 将真、下田 隆大、中島 千佳、川上 歩花、西島 千陽、崎本 史生、松田 総一郎、野坂 進之介、阿部 夏音、島田 裕之

国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

09-8 神経疾患における plasma p-217tau の臨床的検証

瓦林 毅^{1,2)}、高橋 怜真²⁾、上田 哲也³⁾、木下 誠司³⁾、内田 千景³⁾、菅原 隆²⁾、橋本 健太郎⁴⁾、石澤 邦彦¹⁾、甘利 雅邦¹⁾、笠原 浩生²⁾、池田 佳生²⁾、高玉 真光¹⁾、東海林 幹夫^{1,2)}

1) 老年病研究所附属病院 認知症研究センター、2) 群馬大学医学部脳神経内科、3) メディフォード株式会社、4) 前橋赤十字病院脳神経内科

09-9 血漿バイオマーカーによる疾患鑑別と正常圧水頭症患者の術後管理としての応用

中島 円、蒲原 千尋、荻野 郁子

順天堂大学医学部脳神経外科

09-10 MCI におけるバイオマーカー陽性例の認知機能特性—MoCA-J と MMSE の比較検討—

稲垣 徹、住吉 学、羽吹 敏行、本間 あやか、稲垣 寧々、齋藤 孝次

社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院

09-11 アイトラッキング式認知機能評価法のスクリーニング性能を向上させる視線特徴量の同定

手代木 紳^{1,2)}、武田 朱公^{2,3)}、杉原 七海²⁾、伊藤 祐規^{2,3)}、山本 翔^{1,2)}、三木 渉¹⁾、岸野 義信¹⁾、勝久 美月^{2,4)}、鷹見 洋一¹⁾、竹屋 泰⁴⁾、森下 竜一³⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学、2) 大阪精神医療センター・こころの科学リサーチセンター、3) 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学、4) 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 老年看護学研究室

09-12 焼津市の認知症スクリーニングバッテリー SDQ-14 は、正常と MCI、MCI と認知症とを判別する良い指標である

夏苺 直己

(医) 峻凌会やきつべの径診療所 認知症疾患医療センター

- 16:30～18:00 シンポジウム 22
「睡眠の質を高めて認知症予防」
座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）
田口 真源（医療法人静風会 大垣病院）
- S22-1 睡眠と認知機能
野田 明子（中部大学大学院生命健康科学研究科）
- S22-2 ウェアラブル生体センサによる睡眠とアルツハイマー病の関連
木村 成志（大分大学医学部神経内科学講座）
- S22-3 認知症と睡眠障害—伝統医学からのアプローチ—
菱川 望（倉敷平成病院 脳神経内科）
- S22-4 薬剤師が実践する睡眠支援～これからの薬局の役割を踏まえて～
安倉 央（株式会社マスカット薬局）
- S22-5 認知症予防の睡眠薬治療
高江洲 義和（琉球大学 大学院医学研究科 精神病態医学講座）

第 6 会場 3F 中会議室 302

- 10:40～11:20 教育講演 4
「認知症疾患診療ガイドライン 2026 におけるレビー小体型認知症
（Dementia with Lewy bodies ; DLB）診療の改訂ポイント」
座長：涌谷 陽介（倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター）
演者：高橋 牧郎（関西医科大学 神経難病医学講座（脳神経内科））
- 11:30～12:10 教育講演 5
「老年科学からみた認知症予防」
座長：木村 成志（大分大学医学部神経内科）
演者：山本 浩一（大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学）
- 12:20～13:10 ランチョンセミナー 7
「認知症予防の新戦略—バイオマーカーによるリスク層別化と
天然由来成分による介入の可能性—」
座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）
演者：足立 弘明（産業医科大学 医学部 神経内科学講座）
共催：第一工業製薬株式会社
- 13:20～14:00 教育講演 6
「Triospan 戦略から描く新たな認知症医療の可能性」
座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）
演者：武部 貴則（東京科学大学 総合研究院 ヒト生物学研究ユニット/
大阪大学 大学院医学系研究科/ヒューマン・メタバース疾患研究拠点/
シンシナティ小児病院 幹細胞・オルガノイド医療研究センター/
消化器部門・発生生物学部門/
横浜市立大学 コミュニケーション・デザイン・センター）

14:20～16:10

口演 10 「認知症研究」

座長：高橋 牧郎（関西医科大学 神経難病医学講座（脳神経内科））
渡嘉敷 崇（国立病院機構 沖縄病院 脳神経内科）

O10-1 ホモシステインが誘導する α シヌクレイン凝集促進機構

濱野 忠則¹⁾、榎本 崇一²⁾、澤井 恭久³⁾、中野 旬之³⁾、Shu-Hui Yen⁴⁾、高橋 淳¹⁾、石神 慶一郎¹⁾、岩井 邦光¹⁾、大黒 正志¹⁾

1)金沢医科大学 医学部 高齢医学講座、2)福井大学 医学部 第二内科、3)金沢医科大学 医学部 顎口腔外科学講座、4)Department of Neuroscience, Mayo Clinic Jacksonville

O10-2 感覚刺激によるガンマ同調（GENUS）の研究動向と課題 —光刺激を中心とした文献レビュー—

松田 智夫

（株）コタニテック湘南

O10-3 光刺激条件と運動状態がガンマ帯域活動に与える影響に関する基礎的検討 （LCD サンングラス、第 5 報）

松田 智夫

（株）コタニテック湘南

O10-4 地域在住高齢者における気分プロフィールと脳活動の関係

本田 美風、野田 明子、深町 郁葉、山崎 球人、山口 誠二

中部大学大学院 生命健康科学研究科

O10-5 血液バイオマーカーとゲノム情報の統合解析による 軽度認知障害者多因子介入効果予測モデルの構築

木村 哲晃¹⁾、中村 昭範²⁾、杉本 大貴³⁾、佐藤 朝巳⁴⁾、里 直行⁵⁾、新飯田 俊平⁶⁾、尾崎 浩一^{1,7,8,9)}、櫻井 孝^{3,6)}、荒井 秀典¹⁰⁾、重水 大智^{1,7)}

1)国立長寿医療研究センター 研究所 メディカルゲノムセンター、2)名古屋大学 統合生命医科学糖鎖研究センター、3)国立長寿医療研究センター 研究所 予防科学研究部、4)国立長寿医療研究センター 研究所 バイオマーカー測定室、5)国立長寿医療研究センター 研究所 分子基盤研究部、6)国立長寿医療研究センター 研究所、7)広島大学 大学院医系科学研究科 循環器内科学、8)理化学研究所 生命医科学研究センター、9)名古屋大学 大学院医学系研究科 老化基礎科学、10)国立長寿医療研究センター

O10-6 地域在住高齢者における Trail making test part A でのペン先停留時間と 前臨床期認知機能低下の関連

田中 繁弥¹⁾、山上 徹也²⁾

1)高崎健康福祉大学 保健医療学部 理学療法学科、2)群馬大学大学院 保健学研究科

O10-7 専門医不在を補う AI 活用型の認知症コンサルテーション ～認知症看護認定看護師の臨床推論を拡張した一症例の報告～

高橋 鉄平¹⁾、大塚 亮輔¹⁾、衛藤 健志¹⁾、藤野 孝雄²⁾、木村 成志³⁾

1)臼杵市医師会立コスモス病院、2)藤野循環器科内科医院、3)大分大学医学部 神経内科学講座

O10-8 認知症ケアチームを有する医療機関における認知症患者の COVID-19 入院の変遷

三品 雅洋¹⁾、藤澤 洋輔¹⁾、高橋 康大^{1,2)}、吉村 隼樹^{1,2)}、須田 智²⁾

1)独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 脳神経内科、2)日本医科大学 脳神経内科

O10-9 高齢者における心拍変動と認知機能との関係

山崎 球人¹⁾、野田 明子¹⁾、奥田 将人²⁾、深町 郁葉¹⁾、本田 美風¹⁾、安間 文彦³⁾

1)中部大学大学院 生命健康科学研究科、2)たじみクリニック、3)安間眼科

O10-10 血管周囲腔拡大と認知機能の関連：サブグループ解析（J-MINT study）

小野山 絢香¹⁾、佐治 直樹²⁾、杉本 大貴¹⁾、内田 一彰¹⁾、横山 陽子¹⁾、篠崎 未生¹⁾、野上 素子¹⁾、笠井 紅里¹⁾、荒井 秀典³⁾、櫻井 孝³⁾

1)国立長寿医療研究センター予防科学研究部、2)国立長寿医療研究センターもの忘れセンター、3)国立長寿医療研究センター

O10-11 アクティビティ・トイの難易度差が高齢者の脳活動に及ぼす影響

高橋 真悟¹⁾、黒岩 祐樹¹⁾、磯 忍²⁾、高山 陽子²⁾、加藤 大輔³⁾、富田 俊³⁾、櫻井 典子⁴⁾、児玉 直樹⁵⁾

1)高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科、2)芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター、3)高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科、4)群馬パース大学 医療技術学部 放射線学科、5)新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

14:20～15:10 ポスター 6 「認知症予防への取り組み」

座長：笠原 浩生（群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学）

P6-1 補聴器継続装用を可能にする要因の検討：
地域生活継続と認知症予防の関連に着目して

白見 史恵¹⁾、長坂 真弓²⁾、志賀 桂子³⁾、山口 潔⁴⁾

1) 日本赤十字看護大学 看護学部、2) 医療法人社団創福会 ふくろうクリニック目白台、

3) ソフィアメディ株式会社 ソフィアメディ訪問看護ステーション堺中央、

4) 医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力

P6-2 地域在住高齢者に対する多因子介入による認知症予防教室の実践と評価

寺田 侑真^{1,2)}、中北 智士^{1,2)}

1) 紀の川市役所 高齢介護課、2) 社会医療法人 三車会 貴志川リハビリテーション病院

P6-3 隠岐の島町における認知症予防活動の効果—参加者の変化に関する質的分析—

西本 亜希子¹⁾、荒木 さおり¹⁾、青田 和恵²⁾、大田 一樹²⁾、池田 澄江³⁾、浦上 克哉⁴⁾

1) 島根県立大学 看護栄養学部 看護学科、2) 隠岐の島町役場 地域包括支援センター、3) 隠岐の島町社会福祉協議会、

4) 鳥取大学 医学部 保健学科 認知症予防学講座

P6-4 ライフスタイル要因を加味した認知機能低下予防介入の効果検証

左巴 誠人¹⁾、兼田 絵美²⁾、見形 紘子³⁾、西村 昭宣³⁾、今西 直美⁴⁾、龍神 正導⁵⁾、上城 憲司³⁾

1) 社会福祉法人 和歌山市社会福祉協議会、2) 東京医療保健大学、3) 宝塚医療大学、4) 地域包括支援センター高松、

5) 龍神整形外科

P6-5 認知症に関する調査

松島 智恵、矢崎 真理

株式会社太陽生命少子高齢社会研究所

14:20～15:10 ポスター 7 「認知症教育・啓発」

座長：松田 美津子（福島県立医科大学附属病院 検査部）

P7-1 認知症こどもカプロジェクトにおける当事者との共同作業を通じた交流の効果

蜷川 和恵¹⁾、平野 成樹²⁾、大脇 真紀子¹⁾、山崎 美江¹⁾

1) 千葉市認知症疾患医療センター、2) 千葉大学医学部附属病院 脳神経内科

P7-2 認知症サポーター養成のための HBG 看護カフェプログラムと学生の学び-続

土肥 敏博¹⁾、山内 京子¹⁾、加藤 重子²⁾、進藤 美樹¹⁾、岡田 京子¹⁾、浅香 真由巳¹⁾、

佐々木 秀美¹⁾、高橋 登志枝³⁾

1) 広島文化学園大学看護学部看護学科、2) 元広島文化学園大学看護学部、3) 周南公立大学人間健康科学部看護学科

P7-3 認知症カフェを活用した地域連携型看護教育の実践内容と
教育的意義および課題に関する文献検討

前田 純佳

福山平成大学 看護学部 看護学科

P7-4 看護学生を対象とした認知症シミュレーション教育に関する文献検討

池田 彩加

福山平成大学 看護学部 看護学科

P7-5 高知県四万十町の地域在住高齢者における MCI 予防・改善事業
「いきいき脳活リハ」の取り組み～認知機能・生活の変化に着目して～

桂 雅俊¹⁾、浜田 奈穂美²⁾、小野川 このみ²⁾、林 佳奈²⁾、敷地 雄一²⁾、眞明 将²⁾、近藤 寛¹⁾、

竹林 秀晃¹⁾

1) 高知健康科学大学 健康科学部 リハビリテーション学科、2) 株式会社アクトワン

14:20～15:10 **ポスター 8 「認知症の人と家族への支援 1」**
座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

- P8-1 **地域在住高齢者の認知機能低下に関連する活動習慣，社会的環境，生活機能に関する系統的レビュー**
上城 憲司¹⁾、兼田 絵美²⁾、左巴 誠人³⁾、今西 直美⁴⁾、龍神 正導⁵⁾、見形 紘子¹⁾、西村 昭宣¹⁾
1)宝塚医療大学、2)東京医療保健大学、3)和歌山市社会福祉協議会、4)地域包括支援センター高松、5)龍神整形外科
- P8-2 **加齢性難聴高齢者のコミュニケーションを支えるデジタルデバイス活用—補聴器長期装用との関連に着目した質的分析—**
長坂 真弓¹⁾、白見 史恵²⁾、山口 潔^{1,3)}
1)医療法人社団創福会 ふくろうクリニック目白台、2)日本赤十字看護大学看護学部、3)医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力
- P8-3 **神奈川県座間市初の認知症当事者会「ざま認知症コミュニティ」活動報告と発足時の課題**
山隈 加奈子¹⁾、佐藤 昭子²⁾、山隈 岳大¹⁾、武内 智矢³⁾、佐藤 忍¹⁾
1)湘南鎌倉医療大学 看護学部、2)ざま認知症コミュニティ、3)座間総合病院 看護部
- P8-4 **地域在住高齢運転者における認知機能と運転基礎能力・運転行動との関連—ドライビングシミュレータを用いた検討—**
三好 陽子¹⁾、谷村 千華¹⁾、片岡 英幸¹⁾、吉村 純子²⁾
1)鳥取大学 医学部 保健学科、2)鳥取看護大学 看護学部 看護学科
- P8-5 **認知症者を介護する家族員のストレスに関する文献検討**
磯野 洋一¹⁾、亀甲 彩生²⁾、仲野 莉奈³⁾
1)名古屋葵大学、2)榛原総合病院、3)金城学院大学

15:10～16:00 **ポスター 9 「認知症の人と家族への支援 2」**
座長：木宮 高代（福山平成大学看護学部看護学科）

- P9-1 **当院におけるせん妄・BPSD ガイドライン作成による薬剤使用量の変化**
佐伯 恵一、橋場 弘武、松本 美江、東海林 幹夫、高玉 真光
公益財団法人 老年病研究所附属病院
- P9-2 **生活困難感と遂行機能低下を認めた症例に対し目標共有を目的とした視覚的支援を行った一例**
荻野 沙織、市橋 永菜
済衆館病院
- P9-3 **施設で生活する認知症患者への向精神薬使用動向の分析**
新倉 健太郎、稲福 賢司、都甲 崇、秋元 和美
医療法人社団みのり会 湘南いなほクリニック
- P9-4 **入浴拒否がある入院患者が入浴できるようになった一事例**
佐藤 美佐江、細田 恵子、渡邊 みどり、中村 広毅、山崎 智美
医療法人社団 心の絆 蓮田よつば病院
- P9-5 **青年期における母子関係と介護意識との関連**
鈴木 優喜子¹⁾、高橋 和佳²⁾、牧野 由楽³⁾、重見 風⁴⁾、金谷 知穂
1)杏林大学保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、2)江東リハビリテーション病院リハビリテーション科、3)東大和病院リハビリテーション科、4)日本医科大学付属病院リハビリテーション科

15:10～16:00 **ポスター 10 「共生社会の実現へ向けた活動」**
座長：山本 美輪（香川大学医学部 看護学科 老年看護学講座）

- P10-1 **福島県伊達市保原町におけるチームオレンジ発足後 2 年目の活動報告と今後の展望**
神保 良平¹⁾、倉戸 真由美¹⁾、滝澤 かつみ¹⁾、森 美樹¹⁾、佐藤 美子¹⁾、其田 由美子¹⁾、藤田 貴昭²⁾
1)伊達市保原地域包括支援センター、2)福島県立医科大学保健科学部作業療法学科

- P10-2 **認知症の進行に伴うシームレスな生活環境の再構築
～地域活動から重症化予防を意識した状態変容への対応～**
加藤 大貴、稲橋 秀樹、石川 英樹、高澤 優美、細井 健吾、望月 奈緒、市川 ゆき音
医療法人社団心の絆蓮田よつば病院
- P10-3 **音楽体操・歌唱・ミニレクチャー・お喋りから成る
認知症予防カフェプログラムの役割と参加者への効果（報告 2）**
小口 江美子¹⁾、森 友紀子²⁾、田中 晶子³⁾、中西 孝子⁴⁾、西村 美里⁵⁾、佐藤 和子、土屋 朋子、
藤元 流八郎⁶⁾、木内 祐二⁷⁾、村上 秀友²⁾
1)昭和医科大学 上條記念ミュージアム、2)昭和医科大学 医学部 脳神経内科、
3)昭和医科大学 保健医療学部 看護学科、4)昭和医科大学 キャリア支援室、5)昭和医科大学 認定看護師教育センター、
6)荏原ホームケアクリニック、7)昭和医科大学 看護専門学校
- P10-4 **地域在住高齢者のアンメットニーズの判別：自己申告指標を用いた決定木分析**
山下 真里、前田 優貴乃、櫻井 花、稲垣 宏樹、宮前 史子、本橋 佳子、豊田 莉子、
枝広 あや子、河野 栄、宇良 千秋、杉山 美香、井藤 佳恵、岡村 毅
東京都健康長寿医療センター研究所
- P10-5 **意思表示ができない人のためのコ・クリエーションによるアドボカシー支援と
IT 時代の PPI 整備**
伊関 千書¹⁾、北村 由美²⁾、栗田 駿一郎³⁾、安保 寛明¹⁾、浦野 茂⁴⁾、河村 裕樹⁵⁾、小林 貴訓⁶⁾、
早坂 達哉⁷⁾、三原 法子⁷⁾、坂口 慶祐⁸⁾、山崎 敬一⁹⁾、山崎 晶子¹⁰⁾
1)山形県立保健医療大学、2)関西大学人間健康学部、3)特定非営利活動法人日本医療政策機構、
4)三重県立看護大学看護学部、5)松山大学人文学部、6)埼玉大学理工学研究科、7)山形大学、
8)東北大学大学院 情報科学研究科、9)埼玉大学人文社会科学研究科、10)東京工科大学メディア学部

プログラム 第3日目 9月13日(日)

第1会場 2F メインホールC

9:00~10:30 シンポジウム23

「学会発足15周年記念シンポジウム」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座（寄附講座））
西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

浦上 克哉（研究会 会長）
浦上 克哉（第1回大会 会長）
西野 憲史（第2回大会 会長）
川瀬 弓子（第3回大会 会長代理）
石渡 明子（第4回大会 会長代理）
浦上 克哉（第5回大会 会長）
荒井 啓行（第6回大会 会長）
辻 正純（第8回大会 会長）
櫻井 孝（第9回大会 会長）
浦上 克哉（第10回大会 会長）
西野 憲史（第11回大会 会長）
児玉 直樹（第12回大会 会長）
荒川 千晶（第13回大会 会長代理）
内門 大丈（第14回大会 会長）
池田 佳生（第15回大会 会長）

新代表理事からのお言葉

森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

10:40~11:30 特別講演5

「認知症バイオマーカー研究のフロントライン」

座長：松原 悦朗（大分大学医学部神経内科学講座/
白杵市医師会認知症先端医療学研究所）

演者：東海林 幹夫（老年病研究所附属病院 認知症研究センター）

11:40~12:30 ランチョンセミナー8

「嗅覚異常から認知症予防にアプローチする」

座長：古橋 淳夫（医療法人 古橋会 揖保川病院）

- 1 認知症の早期発見と予防への嗅覚機能検査の有用性
浦上 克哉（鳥取大学 医学部 認知症予防学講座（寄附講座））
- 2 主観的認知機能障害、軽度認知障害における嗅覚機能
～嗅覚機能検査キットを用いて～
平田 尚士（医療法人 古橋会 揖保川病院）

共催：小林製薬株式会社

13:10~15:40 市民公開講座

「認知症予防を正しく知って、脳の健康を保ちましょう」

司会：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

太田 康之（山形大学医学部第三内科神経学分野）

基調講演 1 認知症予防を正しく知るために

浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座（寄附講座））

基調講演 2 認知症診療に関する最新的话题

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

特別講演 認知症予防大使からのメッセージ

徳光 和夫（認知症予防大使/フリーアナウンサー）

座談会および来場者との Q&A

パネリスト

徳光 和夫（認知症予防大使/フリーアナウンサー）

森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学）

浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座（寄附講座））

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

後援：エーザイ株式会社

第2会場 2F メインホール B

9:00~10:30 シンポジウム 24

「認知症予防の専門性と連携（日本老年療学会 合同シンポジウム）」

座長：木村 成志（大分大学医学部神経内科）

島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター）

S24-1 樫の森プログラムの取り組み

原島 哲志（医療法人社団 川瀬神経内科クリニック）

S24-2 とっとり方式認知症予防プログラムの社会実装

河月 稔（鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座）

S24-3 身体活動の促進を通じた認知症予防

片山 脩（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部）

S24-4 作業療法士の視点からみた認知症予防

山口 裕香（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科）

S24-5 言語聴覚士の視点から認知症予防に必要な着眼点

コミュニケーションと摂食嚥下の視点から

鈴木 瑞恵（北海道医療大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科）

11:40~12:30 ランチョンセミナー 9

座長：涌谷 陽介（倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター）

1 認知症予防フレンドと多職種協働による新たな展開

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

2 認知症に関する正しい知識の普及とヘルスケアサービスの提供を通じて、
地域共生社会の実現に貢献

瀬山 真、戸張 康子（三井住友海上あいおい生命保険株式会社 商品・サービス部
ヘルスケアサービスグループ）

共催：三井住友海上あいおい生命保険株式会社